

令和 6 年度事業報告書

認定 NPO 法人 Present Garden to

今年度は5月11日の第5回アンクルン演奏会に向けての追い込みの時期に始まりました。メンバーの練習はもちろん会場のホールや演奏家との打合せ、変更、リハーサル等々緊張した日々、そんな中での種蒔き、仮植え、庭の整理などがむしろ心の癒しに感じられる程でした。

グランド・フィナーレと位置付けた演奏会は大成功以上の賜物を会場にもステージにも与えられ、園芸療法とPGの日常を描いた漫画も私共の不安をよそに大きな反響をもたらしました。

9月、10月には出張演奏のオファーがあり、各々聞いて下さる方々の状況に応じたプログラム（選曲）にて、演奏会の勢いを披露し感動を与えました。そこで今まで演奏してきた100曲近い曲目をジャンル毎にロール楽譜にまとめ、ここで終るのでは無く、もう一段上を目指し、また25年培ってきた音楽を地域に役立てる方向へと舵を切る道が見えて参りました。

1. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

NO.	事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支援者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数
1	障害福祉サービス事業	就労継続支援B型	5日／週	法人施設	4人／日	知的障害者 10人 ／日
	事業内活動名	活動内容	実施日時	実施場所	支援者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数
	障害者と市民との交流 活動	地域活動等	1回／月	南多聞台第一・第二公園	利用者及び職員	地域貢献
	里山維持管理活動	国営明石海峡公園の 里山維持管理活動	1回／月	国営明石海峡 公園神戸地区	15人／回	知的障害者 10人 ／日
2	障害福祉サービス事業	共同生活援助	5日／週	県営住宅	2～3人／日	知的障害者 5人/ 日
	事業内活動名	活動内容	実施日時	実施場所	支援者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数
	障害者と市民との交流 活動	地域活動等	2回／年	県営住宅	利用者及び職員	地域貢献
3	障害者によるアンクル ン・オーケストラ演奏 事業	障害者の音楽活動 支援活動	2回／月	近隣集会所	8人／回	障害者 20人／回
		第5回演奏会	2024. 5. 11	西神中央ホール	利用者 16人 職 員 8人	一般市民約 500名
		演奏活動とワーク ショップ	2024. 9. 14 2024. 10. 30	千山荘 さざんか療護園		施設利用者約 30名 施設利用者約 30名

2. 活動報告

特定非営利活動に関わる事業

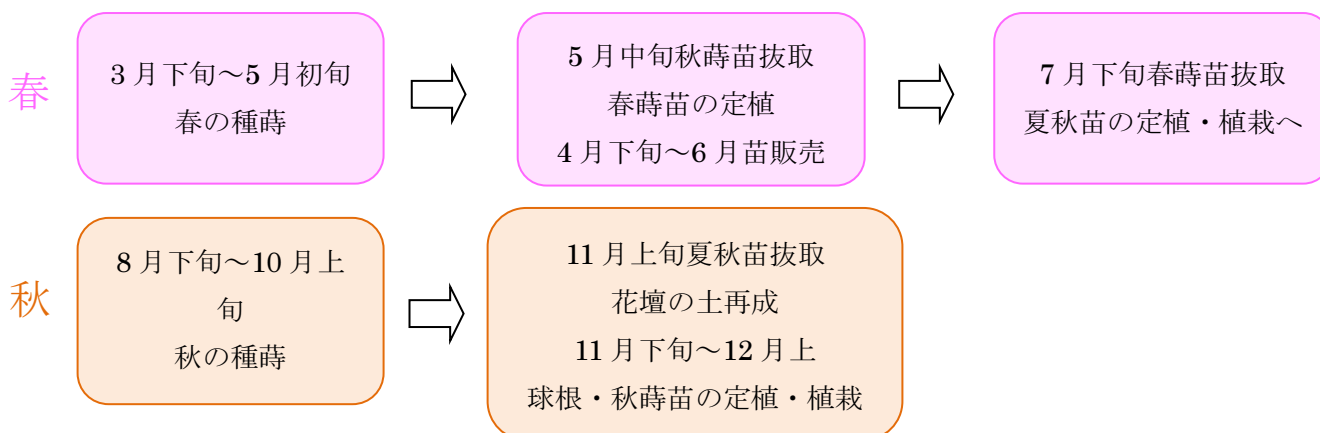
・障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

① 園芸プログラム

プレゼント・ガーデンの実習園庭にて基本的な園芸療法プログラム（種を蒔き、育苗して花を咲かせる）を行っています。園芸療法は花を育てながらメンバーひとりひとりの障害を含めた人格と向き合い、その精神的、身体的、社会的課題を乗り越えるためのプログラムを提供します。そして心身ともに、より健康で社会に貢献できるスタンスを持つことができるよう支援しています。1年間を1クルーと考えるなか、まず「1日の生活リズムを確立」→「春夏秋冬：季節の変化と園芸作業への適応」→「年間園芸活動の把握」これらの活動を繰り返しながら個々の人格的成長を積み重ねています。

気候が変わり四季の変化が分かりにくくなっている昨今、種から花を咲かせることに一層の難しさを感じています。それでも PG の庭や苗を楽しみにして下さっている方がいらっしやり、それに応えるようにメンバーは一生懸命に作業をしてくれます。メンバーの技術能力も向上し、全ての園芸プログラムにおいて作業効率が上がっています。種まき・仮植・植付と個々のメンバーができることが増え、役割を変えたり、交代し合うことができていることに驚きます。そんなメンバー達に次から次へとプログラムを用意することも大変と感じる中で嬉しさも感じています。今年度は特に土の質とサイクルを意識して行い、小寺農園で使用する堆肥や土の再生で出る古土を無駄なく使用することで園芸のサイクルをまた感じる事ができています。

◆種蒔き 年二回



② その他の園芸プログラム

小寺農園

では、自ら育て、自ら食す。そして家族にも喜んでもらい、木曜日（活動日）の野菜のお土産を双方が喜び楽しみにしています。

年度前半は演奏会があったため、農園のお世話が行き届きませんでした。

夏野菜のコーンは収穫前に何者？かによって全滅、夏の猛暑と 9 月半ばには一週間ほど水が出ず（モーターの故障）種蒔きが遅れ、育たない内に寒くなり、小さなカタツムリの大量発生に葉物は穴だらけと事件が多発しました。

それでも「自然循環菜園」に出会い、畝の間に燕麦（緑肥）を育て、刈っては畝にすきこむ、また「連作して豊かな実りを」という今までの考え方を打ち破る畑の管理法に出会いました。夏は透明ビニールを畝に被せ太陽熱で虫と雑草を遮断することによりかなりの効果も実感し、新しい試みに挑戦しています。

使用する堆肥も神戸牛牧場より直接ダンプトラックで仕入れることができるようになり、豊かな畑作りと豊作の際は近所にも分けて交流が一層深まっています。



◆小寺農園 野菜作り

週一回木曜日

東谷公園市民花壇オアシス

は、実習庭園に加えて地域の多くの方々に声をかけていただける一番の場所となっています。花を育てながら

「ありがとう」「綺麗だね」と言ってもらえることができたり、「あの公園の綺麗な花壇はだれがやっているのだろう」という話を耳に挟むと誇らしく思え、地域・社会へのちょっとした貢献を感じることができます。



◆東谷公園市民花壇

週一回月曜日

③ ボランティア講師プログラム

多くのボランティアの皆さまがプレゼントガーデンにプログラムを提供してくださっています。それぞれのプログラムが身体、芸術、音楽、心とメンバーのみならずスタッフの色々な面へアプローチし、大切な経験・体験を積み重ねています。各プログラムの内容も年々僅かな変化が見られその中にメンバーの1mmの成長も含まれているように感じます。プレゼントガーデンを深く理解して提供して下さるボランティア講師の皆様に深く感謝しています。

◆音楽療法	月一回第一火曜日	石川理子
◆グローイングハート	月一回第四火曜日	丹羽和子
◆スイミング	月一回火曜日	斉藤宏太郎<株ケイゾク>
◆薬膳	月一回水曜日	槇 晴美
◆体操の時間	実施無し	各務芳彦
◆朗読の時間	月一回第二火曜日	中原恵子（スタッフ）



絵本の時間



音楽療法



グローイングハート



薬膳

④就労支援事業活動

- ◆花苗販売・植栽（園芸部門）
- ◆手芸活動（手芸部門）
- ◆軽作業等・役務（軽作業部門）

今年度の月額平均支給額は 13,106 円となりました。例年の仕事に加えて、いくつかの新しい仕事を受注することができ大幅に工賃を増額することができました。メンバーのスキルよりも新しいスタッフにスキルを身につけてもらうことが急務となっているように感じています。また道具機材関係も経年劣化が目立つことで買い替えを必要とするものが多くなってきています。除草作業においては、エンジン式機材が広く充電式へと転換してること新しい機材が必要となってきています。一年を通して、花苗販売、植栽、役務にてコツコツと積み重ねてきた収入が全体として大きなものとなったと感じています。金額のみならず、メンバーの経験の積み重ねも大きな財産です。



⑤障害者と市民の交流活動

地域の公園管理会に参加し、月一回近隣の小さな公園二カ所の清掃を行っています。除草が必要な時期には刈払機にて作業を行い、メンバーがあつという間に集草をしてくれます。役務作業で培った作業ノウハウを地域のために用いることができています。近隣の方も喜んで下さり、プレゼントガーデンを理解していただくためにも良い機会となっています。

地域公園清掃	月一回	南多聞台第一・第二公園
--------	-----	-------------



⑥里山管理活動

知的に障害を持つメンバーが林の中を歩くこと、竹林整備において竹を切り倒し、枝を取り、運搬するという作業が困難なく行えていることは作業を始めたころから考えると誰も予想できなかったことであり、大きな成果と言えます。これらを継続して行うことが重要であると考えています。

今年度は比較的天気恵まれて定期的な活動を行うことができました。特に6月後半に活動地内でホタルの観察をできたことは今までにない活動となり、自分たちの竹林・雑木林管理がホタルの生育に良い形につながっているのであればとても喜ばしいことと感じています。

継続的に竹林管理を行う中、管理センターや他団体と協力して伐採した竹を利用してもらえたことはとても大きな成果でした。活動地内の池周りも積極的に伐採し、また一段と土地が拓けていくようで毎回の活動で小さな達成感を得ています。

スマレ増殖については、気候と雑草との戦いになっていますが、段々としっかりと越冬する株も見られるようになってきています。土の状態があまりよくなく、地下茎の多い雑草に悩まされることもあるので、一度土を全体的に掘り起こすことも検討しているところです。



藍那里山活動	月一回（年間 全 13 回）	辰巳憲一
--------	----------------	------

・ 障害福祉サービス事業（共同生活援助）

令和2年9月1日事業開始。定員5名の共同生活援助（グループホーム）「Present Garden tree」を明石市松が丘の県営住宅二部屋を賃貸して実施しています。誰もが住みたいと思えるような家になるよう内装・家具等を整え、「親なき後」の不安を持つ利用者とその保護者の皆さまのために事業を行っています。

グループホームも5年目となり、メンバー達の生活は安定しているものの体調や情緒面での支援が強く必要なタイミングがあります。共同生活が難しいのはメンバーに限らず誰でも感じるものということをよく理解して繊細にどういった支援が必要かを考えなければなりません。来年度が始まる頃には今一度部屋割りを考え直し、支援に必要な体制とメンバーにとって快適な空間作りの両立を目指したいと考えています。体調面においても年齢と共に支援・介護の必要性が刻一刻と高くなっていることを感じています。加えてご家庭の状況、ご家族の体調等も総合的に考慮、必要であればサポートしていくことも求められています。生活を担うということの難しさを感じながらプレゼントガーデンにできることを着実にいき、増やしていかなければならないと感じています。



・ 障害者と市民の交流活動

県営住宅で行われたイベントに参加して地域住民に花苗やぜんざいの販売、かっぱかっぱ作り体験を提供しました。まずはスタッフや保護者が主体となり、プレゼントガーデンのメンバーの住む場所として地域住民に理解を深めていただくことにとても良い機会となりました。今後その規模を広げていくことができればと考えています。

住宅全体で行われる一斉清掃の前には、私たちができる除草剪定作業によって貢献することができとても喜んでいただけました。県営住宅等には高齢者も多くこういった作業が年々難しくなっていると聞く中で、メンバーがその力になれることはとても大きなことだと感じています。



地域イベント参加 地域清掃参加	年二回	県営住宅
--------------------	-----	------

・ 障害者によるアンクルン・オーケストラ演奏事業



2017年の第4回終了時から「もっと高い所へ」と選曲を重ね、難しい音の繋がりに、やれるかどうか？と首をかしげながらも

その曲の魅力に取りつかれて進めておりました。

そこに私が癌ステージⅣの診断を受け三年を療養に専念せざるを得なくなり、追い打ちをかけるように恐ろしいコロナの流行で、すべての事は中断されました。全員がコロナに罹り、中には後遺症に生死をさまよい、今も不自由な症状を持ち続けているメンバーもいます。アンクルンの練習も中断され、メンバーの意欲が削がれて「何のためにアンクルンを？何のために練習を？」という虚しさが漂いました。何とかこの谷間を通り抜けて、演奏会に向けてのあの一途な心を取り戻そうと、まだコロナの冷めやらぬ 2022 年 12 月に久しぶりに内々でクリスマスの集いを催し、まだ練習途中の曲をあの 5 年前のピンクドレス、コスチュームに身を包んでご家族、ボランティアの方々に聞いていただきました。久々のステージに今までになく緊張するメンバー達でしたが、年明けて 2023 年初のレッスンから驚くほどの積極的な気持ちを全員が放ち、やる気満々に！そこから第 5 回演奏会に向けて走り出しました。

あれこれと練習していた曲を各ジャンルに分け、今回初挑戦の日本歌謡曲メドレー（古過ぎてメンバーは知らないけど、ちょっと年上の聴いて下さる方々のために）、ミュージカル、ラテン音楽、そしてクラシック。2023 年 9 月には今回の会場となる西神中央ホールのステージでリハーサルを行いました。これもメンバーに「こんなホールで演奏するんだよ！」という激励を込めると共に、メンバーにとって「初めての場所」という不安を和らげる必要がありました。ここから練習に熱が入り、特に速いテンポのコパカバーナ、アメリカ、ボレロのテンポ向上にはデジタル音源を作り、それに合わせて少しずつテンポを上げていくと言う新戦法を編み出して練習。また足繋く通って下さる伴奏者の演奏を録音して、合わせながら、原曲も聴きながら演奏する事も加えて行いました。メンバー達も今までのやり方（アンクルンの演奏方法）とは違う弾き方に変更することが求められました。メロディを覚えた段階から音楽としての奏法に変化して行くのですが、メンバーは一度覚えた弾き方の変更を極度に嫌う傾向があり、音楽としてのレベルを上げることになかなか至らないことが指揮者を悩ませます。耳を通しての説明より目を通して視覚に訴える説明の方も必要とリンゴやカモの親子や丸や線やと書いて音符のつながりの説明や音楽のイメージを膨らませ、イメージする音が出せたらその場で拍手喝采！！そうしてやっと演奏会レベルの速さ・音になったのが 1 ヶ月前でした。

こんな事もありました。第4回のピンクのドレスがもう可愛い過ぎると言うので、新調することにしましたが、サイズを計り直すと 9 号だった子が 13 号に「ぶっ飛んで！」いるではありませんか！特別あつらえの子はすべての寸法を詳しく書いて送りますが、「計り間違いではないか」と衣装屋さんから何度も電話がかかって来る始末。出来上がって試着してみると、これまた妙な仕上がりで、縫い直し。届いたケースを開けるのにドキドキし

たものです。そのかいもあって演奏会ではすてきなコスチュームに？二部の幕が開くと客席からどよめきが聞かれました。

今回プロのソリストを多くお願い致しました。ところが皆さん超多忙で、アンクルンとの音合わせが一同に会したのが一週間前、それもステージ全体（幕、スクリーン、音響、ライト、楽器設定と移動、演者の出入り等々）もありますので、曲目全部を練習する時間はありません。曲の寸法と指揮者とソリストとの間の打合せくらいで時間は過ぎて行き、その後電話やメッセージにてあれやこれやと「なんで今頃？」とアタフタ、ドギマギ。もちろんプロの方々がアンクルンを思っの提案や相談です。演奏会当日は（DVDにてその全容を知る事となったのですが）驚くほど完璧にア～ウンの呼吸で演奏が決まっていました！「そうなんだ！」「プロというのはこういう人々なのだ！」何度も何度も音合わせをしないと安心出来ない素人とは、ここが違うのだ！と教えられたのでした。

新しい西神中央ホールはこじんまりとしたホールで音響がすばらしく、5回目にして初めてアンクルンの音をマイクを使わず「生！」で聞いていただきました。曲によっては響き過ぎると言うので力を抜いて優しく演奏するように変更したほどでした。舞台を映像でみると、そういった音響や照明の工夫が素晴らしいことにまたまた驚かされます。ホールのスタッフの方々も「なんとかしてやりたい」と思って下さったのでしょう。お願いした以上のことをしてくださっています。

しかしステージは1F、メンバーの楽屋は2F、トイレが遠く、スタジオからステージに行くには急なかなりの階段を昇り降り、ホワイエに行くにも一度2Fに上がらないと行けない等々、裏方にとっては迷路の様、そこで動線を何枚も用意して頭に叩き込み、各部署のボランティアに説明、メンバーを適格に誘導できるようにスタッフは何度も打ち合わせをして臨みました。当日は特に15分の休憩時にトイレ、着替え、水分補給・・・ドキドキハラハラ。しかし当日そんな私たちを見てホールから特別な計らいをたくさんして下さり、安心して進めることができました。案外この裏が上手くいくことがとても大切なことなのです。第二部の幕が開くと男女お揃いの白とブルーのコスチュームでとても落ち着いて立っているメンバー、二台のピアノを並べてがらりと雰囲気を変えたステージになりました。

このように、演奏会に向けての日々、様々な準備の中で予期せぬ事やトラブルや心配も多く気が気ではありませんでしたが、無事演奏会を終えることが出来ました。映像を見てますと客席にはこんな風に伝わっていたんだなあ～！人間いつもひとりで二つの立場を重ね持つ事ができない事を思います。メンバーの演奏はいつも共に練習している私共がびっくりするほど整った演奏でした。集中と緊張の中で堂々とレッスンやリハーサルには無い完成度には、ほんとうに驚かされました。500名近いお客様からは感動の嵐！！今も余韻が続いています。厳しい練習に耐え抜いたメンバーはその重荷を解いてスッキリ！一段と自信に満ち余裕さえ感じられます。

◆レッスン	月二回第二・第四土曜日	近隣集会所	北山紀子・石川理子 奥田幸果・山川亜紀
◆演奏会	2024年5月11日	西神中央ホール	
	2024年9月14日	千山荘	
	2024年10月30日	さざんか療護園	

3. 事業実施体制

①会議に関する事項

◆通常総会

開催日 令和6年6月15日(土) 09:30～10:20

開催場所 法人第二作業棟ひだまり

出席者 19名（うち表決委任者3名） 正会員総数20名

第1号議案 令和5年度事業報告に関する件

第2号議案 令和5年年度決算に関する件

令和5年年度監査報告

第3号議案 令和6年度事業計画に関する件

第4号議案 令和6年度予算に関する件

◆理事会

令和4年度第一回理事会

開催日 令和6年5月29日(水) 14:00～14:30

出席者 理事5名（うち表決委任者なし）

議案 第1号議案 令和6年度通常総会に関する件

第2号議案 NPO法人あいな育みの会残余財産譲渡の件

②事務局体制

◆事務長 高野捧

③会員

◆正会員 20名